

マカフィー ウェブシールド アプライアンス

McAfee WebShield Appliance v3.0

Secure Content Management ソリューション

セキュア・コンテンツ・マネジメントの重要性

今日の多面的なネットワーク環境では、社内外でやりとりされるコンテンツが企業のセキュリティポリシーやプライバシー規制に違反しないように徹底することが極めて重要です。McAfee®のセキュア・コンテンツ・マネジメント・ソリューションは、企業規模を問わず柔軟に対応できる統合技術を提供し、リソースの最適化、生産性の向上、セキュリティポリシー違反の防止を支援します。最高のウイルス/スパム/セキュアコンテンツの技術で、インターネットトラフィックの把握、制御、および管理を行うことができます。

McAfee WebShield Appliance の特長

セキュア・コンテンツ・マネジメントに必要な機能を広くカバー

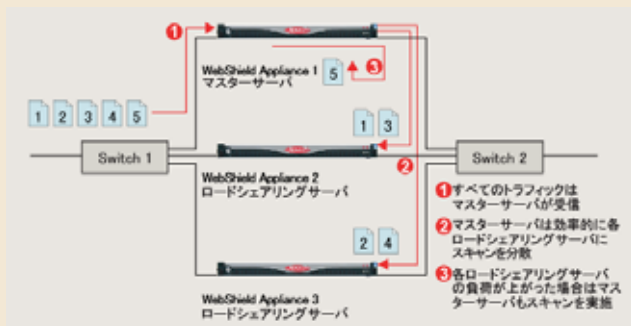
McAfee WebShield Appliance® v3.0 は、容易に設定できるインターネットゲートウェイのためのソリューションで、SMTP、HTTP、FTP、および POP3 プロトコルの受信・送信トラフィックをスキャンします。比類のないパフォーマンスとウイルスの検知・駆除機能を提供し、あらゆる規模の企業にとって無用なスパム形式のメールや迷惑なコンテンツを防止します。スパイウェアやアドウェア、増加が著しいフィッシングメールなどにも幅広く対応する製品です。

透過型ブリッジ構成を加えた 3 種類の接続構成

McAfee WebShield Appliance はお客様の既存のネットワーク形態に応じて、プロキシ構成、透過型ルータ構成、透過型ブリッジ構成を選択することが可能です。

ロードシェアリング機能を標準サポート

複数台の McAfee WebShield Appliance で構成されたネットワークの場合、標準装備のロードシェアリング機能が威力を発揮。マスターサーバが処理分散を行い(高負荷時にはスキャンも実施)ロードシェアリングサーバがスキャンを実施してゲートウェイウイルス対策の効率化をサポートします。



使いやすい豊富な管理機能

簡単・迅速にゲートウェイでのウイルス対策を実現できる McAfee WebShield Appliance は、管理者にとっての使いやすさにも万全の配慮を行き届かせました。豊富な管理機能が、円滑で効率的なシステム運用をサポートします。

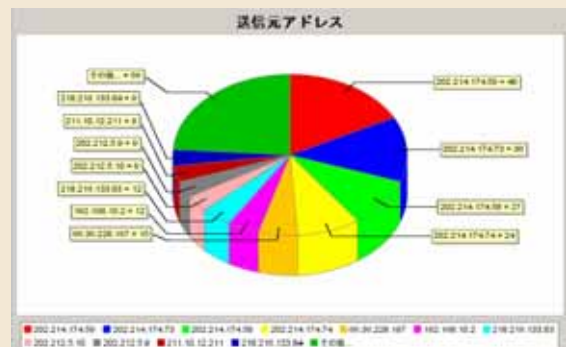
• 包括的なログ機能

ゲートウェイの情報をつねに正確に把握することが可能。またアラート機能より、万一のウイルス感染時にも迅速に対応できます。



• グラフィカルレポート機能

ゲートウェイで検出率が高いウイルスの種類など、ウイルス情報をもっとも迅速に確認し、より有効な対策に活かすことができます。



• 自動アップデート機能

スキャンエンジンとウイルス定義ファイルをつねに最新の状態に更新し、ウイルス対策に万全を期します。

• ePolicy Orchestrator との連携機能

McAfee 製品の統合管理ツールである ePolicy Orchestrator との連携により、ゲートウェイ上でのウイルスの発生をリアルタイムに把握することも可能です。また、より多様なレポート機能を利用することが可能になります。

• 管理しやすいウェブベース・インターフェース

McAfee WebShield Appliance は、ブラウザから容易に管理することが可能です。リモート管理や 1 台のマシンから複数の WebShield Appliance ハードウェアを管理することもできます。

複数プロトコルのサポートで最高のフィルタリングを実現

脅威は複数のプロトコルを利用してネットワークに侵入します。あらゆるプロトコルに対する保護とセキュリティ対策が不可欠です。WebShield Appliance は以下をサポートします

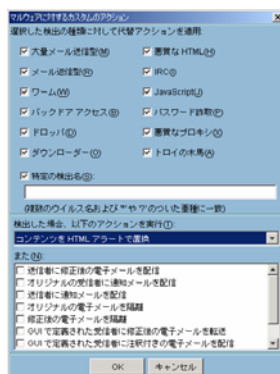
- SMTP・POP3 電子メールトラフィック
ICSA の報告によれば、ウイルスの 86%までが電子メール経由で送信されています。
- HTTP スキャンによる Web トラフィック
DoS 攻撃や複合型の脅威を防ぎます。
- FTP スキャンにより、FTP サーバからダウンロードされるすべてのファイル

高度なコンテンツフィルタリング機能

コンテンツフィルタリング機能で、不適切なコンテンツのネットワークへの侵入だけでなく、機密情報がネットワークに流出することも防ぐことができます。コンテンツ管理ルールに基づいて電子メールと 300 種類以上の添付ファイルの語句をスキャンし、実際の添付ファイルの種類を識別して一般的なルール違反を防止することで、企業の社員やシステムを被害から守ります。ルールに違反する特定の単語やフレーズを含む電子メールや添付ファイルは、カスタマイズ可能なメッセージに差し替えることができます。

3 層の内蔵型スパムおよびスパイウェア / アドウェア対策

スパムを撃退するには、多面的な対策が必要です。McAfee セキュア・コンテンツ・マネジメントソリューションでは、DNS ブロックリストのサポート、ブラックリストとホワイトリストの利用、およびコンテンツフィルタリング技術が組み込まれています。複数のアプローチを採用することで、企業は既知のスパムメール送信者に加え、特定の単語やフレーズもブロックできます。McAfee SpamKiller® との組み合わせにより、プロアクティブなスパムフィルタリング技術で、この 3 層の保護をさらに強化できます。増加しているスパイウェア・アドウェアには、DAT により最新の対策を提供します (2004 年 9 月末現在、約 300 種検出可能)。



拡張されたポリシーサポートによるポリシーベース制御

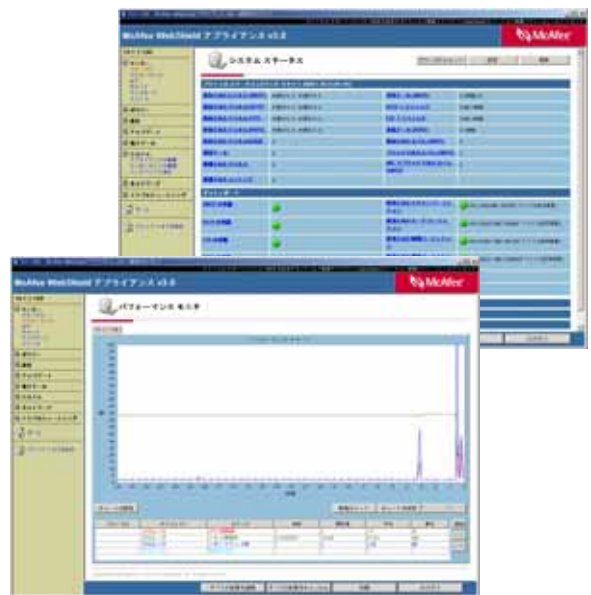
McAfee WebShield Appliance v3.0 は、ウイルス対策、コンテンツおよびスパムフィルタリングルール用のポリシー制御機能を提供します。これにより、管理者は、複数のスキャンタイプにわたって個人やユーザグループごとに個別のフィルタリングルールを設定できるので、スキャンおよび設定の柔軟性が大きく向上します。さらに、ルールの定義やグループの設定時に Microsoft® Active Directory または LDAP にアクセスできるので、既存のユーザディレクトリを有効活用できます。

URL ブロックリングとフィルタリング

特定の Web サイトへのアクセスをブロックすることで、ネットワーク帯域の無駄使いとスタッフの生産性の問題を解決できます。

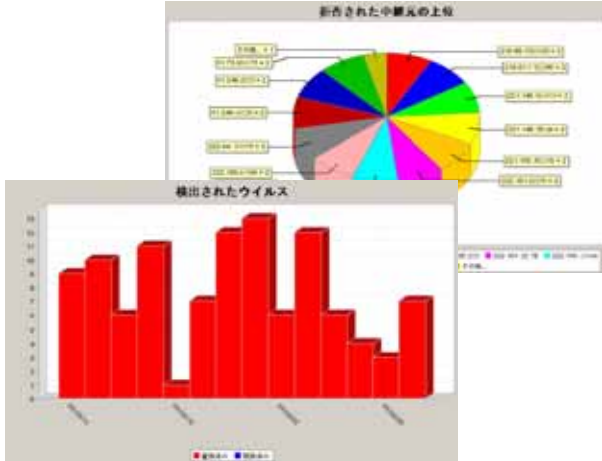
McAfee ダッシュボード

フォレンジック分析やシステム状況を表示する McAfee ダッシュボードにより、管理者は、設置された WebShield Appliance の状況や統計情報を 1 つの見やすい画面で確認できます。ダッシュボードには、検出されたウイルスやスパムメッセージの数、HTTP トラフィックの状況等の詳細情報が表示されます。また、ダッシュボード機能の一部として、WebShield Appliance が検知したメッセージの数やタイプといった、より詳細な SMTP セッション情報を収集できる機能も備えています。この情報をデバッグ、トラブルシューティング、フォレンジック活動のツールとして使用することで、企業は、社内の情報監査責任者が要求するセキュリティのベストプラクティスに合致した要件を満たすことができます。



詳細なグラフィカルレポート作成機能

McAfee ePolicy Orchestrator®との統合により、インターネットゲートウェイでの活動を把握できるグラフィカルなレポート作成および傾向分析機能を提供します。

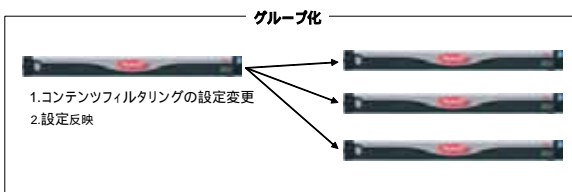


自動アップデート

常時接続、常時更新機能を備えた McAfee WebShield Appliance v3.0は、最新の定義ファイル、ルール、およびエンジンを自動的にチェックし、ダウンロードすることで、システムを常時保護します。

すぐれた管理機能

- Web ベースのリモート管理
複数のハードウェアを導入していても、Web ベースの単一の管理インターフェイスで、組織内のすべてのコンテンツ管理を実施できます。さらに、ウイルスおよびスパム活動の統計的傾向分析を含む詳細なグラフィカルレポートにより、管理者は保護対策の有効性を監視できます。
- セットアップウィザード
見やすい、設定しやすいウィザードに従い情報を入力。わずか数ステップで、ハードウェアの設定が完了します。
- 複数ハードウェアの管理
1つのコンソールで、複数のハードウェアの設定を同時に実施できます。管理者は、1つのデスクトップ/ブラウザインターフェイスからアプライアンスを管理できます。



McAfee WebShield Appliance ハードウェア(3100)

情報漏えい対策に必要な基本機能をすべて網羅

企業の貴重な資産である情報を守る必要が叫ばれています。情報漏えい対策も、セキュアな情報管理、すなわち「セキュア・コンテンツ・マネジメント」の観点から何重にも行うことが重要な時代です。情報を保護するための製品選び、という観点から、そのために必要な機能には、以下が挙げられます。

検出機能

- ・ メール件名、本文、ヘッダの検出
- ・ 添付ファイル名、サイズ、ファイルタイプの検出
- ・ 添付ファイル内のキーワード検出
- ・ 日本語対応であること

アクション設定

- ・ 送信 / 受信でアクションを変更できること
- ・ メールの許可、拒否、破棄、隔離、特定のメールアドレスへの転送

記録と保存

- ・ 日時、送信者、受信者、IP アドレス、検出したルールをログに記録
- ・ 保存 (隔離) したメールの検索、転送 (アーカイブ)、破棄が簡単にできること

適用範囲の指定

- ・ メールアドレス単位、ネットワークセグメント単位でのグルーピング
- ・ LDAP サーバに対するグループの問い合わせ

McAfee WebShield Appliance なら、標準機能でこれらすべてを網羅。企業のセキュア・コンテンツ・マネジメントに大きく貢献します。卓越したウイルス対策ソフトウェアとコンテンツ管理ソフトウェアをハードウェアと組み合わせた統合型ソリューションに、ゲートウェイ上で企業内へのウイルス侵入・蔓延を阻止するのはもちろんのこと、コンテンツフィルタリングなどウイルス対策以外のセキュリティ機能も標準装備。ゲートウェイセキュリティの総合ソリューションとして企業のネットワークを強力に保護します。

McAfee WebShield Appliance ハードウェア・ソフトウェア仕様

	WebShield 3100 Appliance	WebShield 3200 Appliance	WebShield 3300 Appliance
ハードウェア			
筐体タイプ	1U Server(ラックマウント)	1U Server(ラックマウント)	1U Server(ラックマウント)
CPU	Intel Celeron 2.4GHz	Intel Single Xeon 2.8GHz	Intel Dual Xeon 2.8GHz
ハードウェアドライブ	80GB x1	73GB SCSI DMA 320 x2 (RAID1)	73 GB SCSI DMA 320 x2 (RAID 1)
メモリ	512MB RAM	1GB RAM	4GB RAM
ポート数	2 (10/100/1000 Ethernet)	2 (10/100/1000 Ethernet)	2 (10/100/1000 Ethernet)
クロック	400MHz Front side BUS	800MHz Front side BUS	800MHz Front side BUS
冗長電源	No	No	Yes
寸法(mm)	579(D) x 424(W) x 42.0 (H)	762 (D)x482 (W) x 42.9(H)	762 (D)x482 (W) x42.9(H)
重量	12.27Kg	17.69Kg	17.69Kg
電源	280W, 110/220V	550W, 110/220V	550W, 110/220V
ネットワーク構成			
透過型ブリッジ構成	Yes	Yes	Yes
透過型ルータ構成	Yes	Yes	Yes
明示的プロキシ型構成	Yes	Yes	Yes
ロードシェアリング機能(負荷分散機能)	Yes	Yes	Yes
パフォーマンス			
SMTPトラフィックのみ	60,000 メッセージ / 時	120,000 メッセージ / 時	240,000 メッセージ / 時
HTTPトラフィックのみ	6.5M ビット / 秒	8M ビット / 秒	16M ビット / 秒
Anti-Spam のみ*	35,000 メッセージ / 時	75,000 メッセージ / 時	140,000 メッセージ / 時
ソフトウェア			
SMTP/HTTP/FTP/POP3 スキャン	Yes	Yes	Yes
Content Management			
Email メッセージボディ/件名	Yes	Yes	Yes
添付ファイル名,タイプ,サイズ,数	Yes	Yes	Yes
テキスト添付のスキャン	Yes	Yes	Yes
Anti-Spam(標準装備)*			
整合性分析	Yes	Yes	Yes
ヒューリスティック検出	Yes	Yes	Yes
RBL サポート	Yes	Yes	Yes
ブラックホールリストサポート	Yes	Yes	Yes
管理者定義フレーズ	Yes	Yes	Yes
Reporting			
グラフィックレポート/傾向分析	Yes	Yes	Yes
ePolicy Orchestrator サポート	Yes	Yes	Yes
アラート			
Email アラート/SNMP	Yes	Yes	Yes
URL ブロッキング	Yes	Yes	Yes
HTTP ダウンロードステータス画面	Yes	Yes	Yes
アンチリレー機能	Yes	Yes	Yes
免責条項挿入機能	Yes	Yes	Yes
リモート管理	Yes	Yes	Yes

* McAfee SpamKiller for WebShield Appliance 使用時詳細に関しては、McAfee SpamKiller for WebShield Appliance データシートを参照下さい。

MCADS-WS3-0410A-MC

マカフィー株式会社

お問い合わせ先

www.mcafee.com/jp

東京本社 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂 1-12-1 渋谷マークシティウエスト 20F
TEL: 03-5428-1100(代) FAX: 03-5428-1480

名古屋営業所 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内 2-20-25 丸の内 ST ビル 8F
TEL: 052-203-8421(代) FAX: 052-203-8422

西日本支店 〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島 2-2-2 近鉄堂島ビル 18F
TEL: 06-6344-1511(代) FAX: 06-6344-1517

福岡営業所 〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東 1-10-27 アステシア博多ビル 8F
TEL: 092-452-3511(代) FAX: 092-452-3515

McAfee, WebShield, SpamKiller, ePolicy Orchestrator は米国法人 McAfee, Inc. またはその関係会社の登録商標です。
本書中のその他の登録商標及び商標はそれぞれその所有者に帰属します。© 2004 Networks Associates Technology, Inc. All Rights Reserved.
製品、サービス、サポート内容の詳細は、最寄りの代理店または弊社事業部までお問い合わせください。製品の仕様、機能は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。